

スクラム

1 2月の生活目標

礼儀正しくしよう。

・近所の人・先生・友達に心を込めた挨拶をしよう。

・正しい言葉遣いを心がけよう。

一日一日を大切に

日が短くなり、朝夕の寒さが身にしみる季節となりました。

先日、新型コロナウイルス感染症の流行にともない延期されていた校外学習、地区新人大会が無事行われ、生徒は、忙しくも充実した学校生活を送っています。思い返してみると、4月の入学から半年が過ぎ、1年生の生徒たちと共に過ごす中で、授業や部活動、生徒会活動、学校行事等に懸命に取り組む姿をたくさん見る事ができました。日々、様々なことを経験する中で、少しずつ中学生らしく成長しつつあるのを実感しています。

さて、これからは「人生100年時代」が到来すると言われていますが、私の実感として、中学校で過ごす3年間は、その「100年間」の中でも特に重要な時期であると考えています。なぜならば、この3年間で人は大きく変化できるからです。1年生の皆さんにはこの3年間はより良く過ごすためにも、これからますます内面の「自分らしさ」を磨いていってほしいと思います。そのためには、自分にはどんなよさがあるだろう、自分に足りない部分は何だろうと、日々様々な面から自分を見つめてみるが必要になります。また、「自分らしさ」の土台づくりも大切です。物事に誠実に取り組む姿勢や周囲の人を尊重し協力しようとする態度、毎日を健康でさわやかに過ごす心と体等、これから先の自分自身を支えていく土台とも言えるものです。そして、この「自分らしさ」は、日々の経験を着実に積み重ねることこそ、少しずつ磨かれるものです。ふとしたときに自分自身を顧みたり、その都度やるべきことにしっかりと取り組んだり、一日一日を大切に過ごしてほしいと思います。

1年生の皆さんが身も心も中学生らしく成長し、多くの場面で活躍してくれることを期待し、これからも1学年スタッフ一同、生徒たちを精一杯バックアップしていきたいと考えています。

1年1組 担任 中山 隼人

栄光の記録

○第35回氷見市卓球選手権大会	カデット女子の部	1位
		2位
○第63回氷見市駅伝競走大会	男子	6位
	女子	3位
		4位
		8位
○地球温暖化防止活動に関するポスター	入選	3名
○第2回 実用英語技能検定	3級	1名

12月の予定

- 3日(金) 新入生入学説明会
- 20日(月) 書初練習会
- 22日(水) 保護者会
- 23日(木) 保護者会
- 24日(金) 終業式
西條デー
- 27日(月) 冬季休業(～1月10日)
- 29日(水) 学校閉庁(～1月3日)

※3学期の予定

- 1月11日(火) 始業式、給食開始、書初大会

書初練習会

20日(月)の3・4限に書初練習会を行います。書初道具の準備をしておいてください。

<準備物>

だるま筆、小筆、文鎮、墨入れ、墨汁、書道用下敷き、新聞紙1日分、ビニールシートもしくは新聞紙(床に敷くもの)、ゴミ入れ用ビニール袋、体操服上下

※練習用紙12枚を学校で準備します。

※書初大会は1月11日(火)です。

新体操服について

新体操服のロゴデザインが決定しました。来年度の新入生から新体操服に変更になります。新体操服の移行期間を2年間とし、令和6年度より新体操服に完全移行します。今年度の1・2年生は、来年度以降も現行の体操服を着用しますが、移行期間中の体操服の取り扱いについては、以下のようになっています。



決定したロゴデザイン

【移行期間中の取り扱いについて】

- ・来年度の2・3年生は、現行の体操服を着用する。
- ・令和4年度以降の新入生は、学校行事(運動会、校外学習等)や部活動の各種大会に参加する際、新体操服を着用する。
- ・移行期間中は、新入生も授業等において現行の体操服を着用してもよい。
- ・移行期間中は、2、3年生が新体操服を購入し、着用してもよい。

令和5年度 修学旅行について

10月に令和5年度の修学旅行についてのアンケートに御協力いただき、ありがとうございました。アンケートの結果、「関西方面」を希望なさる方が多かったので、B案「関西方面」で今後の計画を立案していきたいと考えておりますのでご了承下さい。

保護者会のお知らせ

12月22日(水)、23日(木)に保護者会を行います。お子様の学校における様子や冬休み中の生活等について懇談したいと思います。

※面談の折に「通知表」をお渡しします。

※通知表の出欠の記録は12月3日(金)までのものです。

※上履きをご持参ください。また、廊下が集合場所のため、防寒の備えをお願いします。

※マスクの着用、生徒玄関での手指消毒をお願いします。

※発熱、風邪症状のある場合はご来校をお控えいただき、その旨を担任までご連絡願います。面談日時については、改めて相談します。

芸能鑑賞を終えて

芸能鑑賞を終えて思ったことは、狂言をやることは難しいことだと思いました。とくに難しいと思ったことは動物の鳴き声です。狂言の講師の方が、いちばん難しい動物の鳴き声はキツネだと言っていました。確かに考えてみればキツネの鳴き声は聞いたことがないので1番難しいと思いました。狂言は少し言い方を変えるだけで伝わり方が変わると思いました。狂言は室町時代（1366～1573）に成立したと考えられることも知ることができたのでよかったです。狂言をもっと調べてみたいと思いました。

1組

狂言の体験をしている人たちがすごく難しそうにしているのを見て、大変そうだと思います。最後に全員で声を出してみる機会がありましたが、難しかったです。今回来ていただいた講師の方々はすごいと思いました。

1組

僕は今日初めて狂言を見て、所々で言葉が分からなかったり、聞き取れなかったりする部分がありましたが、全体の内容は分かったので不思議な演劇だと思いました。講師の方々の声量や独特な声の出し方を活かした演技力は素晴らしいと思いました。狂言が日本の伝統文化として伝えられていけばいいと思いました。

1組

芸能鑑賞で、自分にあまりなじみのなかった狂言を見ることができたのでよかったです。また、狂言の講師の方々の演劇は、ステージ上でも緊張しておらず、それぞれのセリフを話していたのですごいと思いました。最後に、狂言歴40年以上の方に犬の鳴き声を教えてもらい、ステージ上で実演しました。とてもよい経験になったと思います。

1組

狂言がとても面白かったです。講師の方々がとても難しそうな演技をしていたので、すごいと思いました。金沢に行って、他の狂言の演劇も見たいと思いました。最後にクラスの代表の人が狂言の体験をしていたのを見て、自分もやってみたいと思いました。

2組

狂言を見て、よく分からない言葉がたくさん聞こえましたが、工夫された動きを見て、登場人物が何を思っているか、何を表現しているかを理解することができました。今時のドラマとは違って、演じている人が、動物の鳴き声や、物音を声で表現しているのはすごいと思いました。狂言という伝統文化が、絶えることなく650年間受け継がれていると知って驚きました。伝統芸能にはあまり興味がありませんでしたが、見てみると面白いと思いました。

2組

今日の芸能鑑賞で、能が6世紀に中国から来て、狂言も能と同じで中国から渡来したことが分かり、能と狂言の歴史について知ることができました。また、演じている人も声がしっかり出ていて、どのように発声しているのか分からず、すごいなと思いました。狂言の体験でも、難しい動物の鳴き声を表現していて、おもしろかったです。

2組

今日の狂言を見て思ったことは、声の出し方が面白いことです。狂言自体見たことがなく、独特な緩急を付けて話していたので面白いと思いました。猿や犬などの鳴き声を表現していて、狂言の講師の方々はずごいと思いました。普通に話しているときは声が低かったですが、動物の声を出すときは、声がとても高かったからです。

2組

狂言を見て、今で言う漫才のようで面白かったです。狂言は動物の鳴き声や、雷等の自然の音等、全てが人の声で表現されていて楽しかったです。今回見た「棒しばり」という物語が、お酒を飲むために必死になっている大人たちの物語で、狂言師の方がお酒を飲む姿等がリアルで、本当に飲んでいるように見えました。芸能鑑賞を終えて、狂言に少し興味が湧いたので、他にもいろんな作品を見てみたいと思いました。

3組

私は国語の時間に動画で狂言を見たことがありましたが、実際に目の前で演じているのを見たことがなかったので、「現実で見るのと動画で見るのはちがうのか」と思っていました、実際に見た方が、迫力があってよかったです。

3組

狂言を見て、自分が思っていたよりも迫力があってすごいと思いました。物語が家の中で始まって、どのような展開になるのかと思っていました、続きが気になる終わり方をしたので、まだまだ見たいと思いました。これほど興味が引かれるとは思いませんでした。

3組

僕は昔から代々受け継がれている狂言を初めて見ました。見て思ったことは、昔の言葉は今の言葉と語尾や緩急が違うので、言葉の違いが気になりました。狂言の体験をしていた人は勇気があってすごいと思いました。自分も勇気を出してやってみればよかったと思います。

3組